



エマニュエル・ジラルル (チェロ) Emmanuel Girard, Cello

1970年フランスのブザンソンに生まれる。ソルボンヌ大学で美術史、ラングゾー＝フランス国立東洋言語大学で日本語・日本文学を学ぶ。さらにパリ国立高等音楽院にてフィリップ・ミュレール、クリスティアン・イヴァルディ、クリストフ・コワンの各氏に、マスタークラスにてアンナー・ビルスマ氏に師事。ルネサンス音楽についても研鑽を積み、同校をチェロ、室内楽共にブルミエ・プリ(一等賞)で卒業。独学でヴィオラ・ダ・ガンバとリュートの奏法を習得。

ザルツブルク古楽祭、ストックホルム水上の音楽祭、仙台クラシックフェスティバル、軽井沢国際音楽祭等の音楽祭、そしてカーネギーホール(ニューヨーク)、シテ・ドゥ・ラ・ミュージック(パリ)、アン・デア・ウィーン劇場(ウィーン)等の欧州主要ホールにて、ソロ、室内楽、通奏低音の各分野で数多くのコンサートに出演。フランスのレ・タロンリリックやラ・シャンブル・フィルハーモニックといった室内オーケストラの主要メンバーとしても活動するほか、指揮者J.E. ガーディーナーが率いる、オーケストル・レヴォリューション・エ・ロマンティックでもゲスト・チェリストを務める。

演奏活動の他、桐朋学園大学音楽学部特任教授として、マスタークラス、セミナー等での、チェロ、室内楽、ヴィオラ・ダ・ガンバの指導や、コンクールの審査員等を行っている。

日本アコースティックレコードから発売中のCD「J.S. バッハ無伴奏組曲 全曲」(チェロ&ピッコロ・チェロ)は音楽雑誌「レコード芸術」をはじめ、高く評価されている。2015年秋には「20th Century Folk Cello Solo」を発売。

使用楽器はカルロ・アントニオ・テストーレ(1750年イタリア・ミラノ)作。

一緒に演奏していると今まで気づけなかった
作品の魅力が浮き彫りになってくる…
エマさんはそんな素敵なチェリストです。 ~田村 緑



田村 緑 (ピアノ) Midori Tamura, Piano

東京都出身。桐朋女子高等学校音楽科を卒業後、英国財団の奨学金を受け渡英。ギルドホール音楽院首席卒業を経て、シティ大学大学院修士課程を修了。1998年より特別研究員としてギルドホール音楽院に勤務。第4回インターカレッジ・ベートーヴェン・ピアノコンクール第1位、ダドリー国際ピアノコンクール現代音楽最優秀演奏賞をはじめ、室内楽でも数々の賞を受賞。日英文化祭、ウィグモアホールでのリサイタル、BBCテレビ・ラジオに出演するほか、ソリストや室内楽奏者として、欧州を中心に演奏活動を行なう。

帰国後、その躍動感に満ちた情感あふれる演奏スタイルと、在英経験を活かした独創的な教育プログラムが注目を集め、2002年より(一財)地域創造・公共ホール音楽活性化事業登録アーティストとして、全国各地でコンサートおよびアウトリーチ活動を行う。楽曲を深く楽しく理解するワークショップ「モーツァルトを大解剖! ねんどでアナリーゼ」「変奏曲をアナリーゼ」「展覧会の絵を100倍楽しむ方法」他を開発。音楽の感動を演奏で伝えるとともに、聴き手にとって音楽を楽しめる体験とするために、様々な手法を生み出す稀有なピアニストとして全国各地からのオファーが絶えない。

ピアニスト田村 緑公式ホームページ <http://www.tnzm.net/>

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする
宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール(052-265-1715)までお問合せ下さい。

交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分

テレビ塔、久屋大通、栄、三越、地下鉄名城線、中區役所、中目ビル、カワエ、宗次ホール、ベネッセホール、東急ホテル、至高社、NHK名古屋放送局、オアシス21、愛知芸術文化センター、東海テレビ、地下鉄東山線、中部電力、東新町出口、名古屋線、都市環状線、CBC

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~18:00
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)